

「城東地域活性化推進協議会」で「墨田区防災フェア」に参加しました

平成28年9月10日(土)、すみだリバーサイドホールにて「墨田区防災フェア」(墨田区主催)が開催されました。城東地域の産・学・金6団体からなる「城東地域活性化推進協議会」で、開発中の「冠水道路の推進表示ポール」を展示しました。

実施概要

日時：平成29年9月10日(日) 10:00~16:00

場所：すみだリバーサイドホール(東京都墨田区吾妻橋一丁目23番20号)

参加：城東地域活性化推進協議会メンバー 10名程度

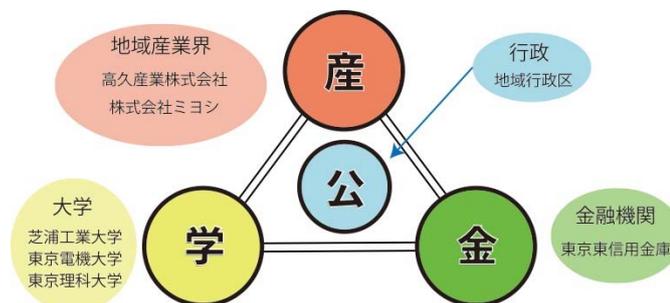
ブース来場者 56名(カウントできた参加者のみ)

その他：連携している「ふじのきさん家」、「すみだの‘巣’づくりプロジェクト」も同時展示
メディア取材(サンケイリビング、日刊工業新聞、J;COMなど)

城東地域活性化推進協議会(※1)は、2014年から活動しており、複数の地域企業・大学・金融機関が連携しながら、地域の課題解決やものづくり産業の活性化を目的として、研究会の開催と具体の製品開発に取り組んでいます。

※1：城東地域活性化推進協議会 参加メンバー(2017年9月時点)

- ①高久産業株式会社(東京都墨田区)
- ②株式会社ミヨシ(東京都葛飾区)
- ③東京東信用金庫(東京都墨田区)
- ④東京理科大学(東京都新宿区・葛飾区)
- ⑤東京電機大学(東京都足立区)
- ⑥芝浦工業大学(東京都港区・江東区)

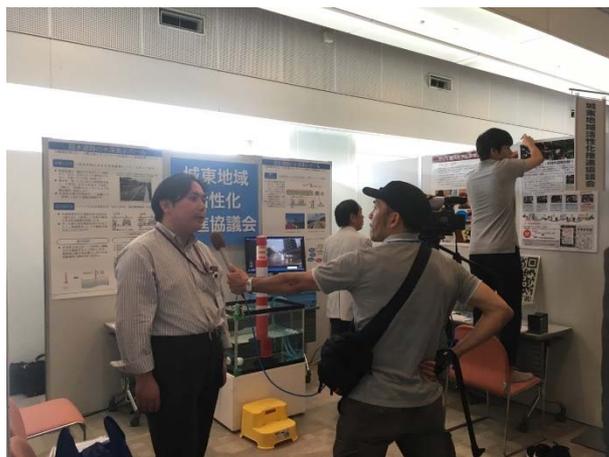
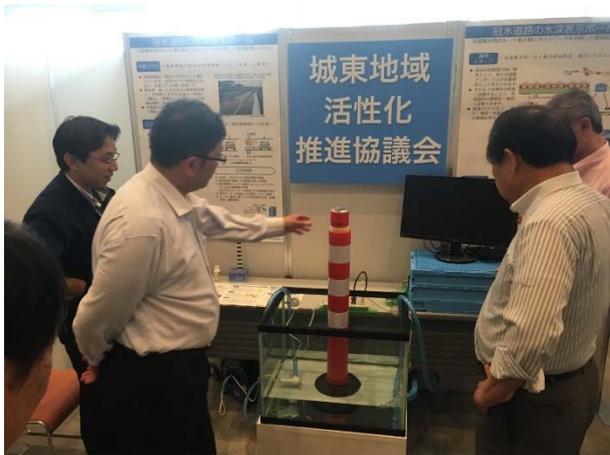
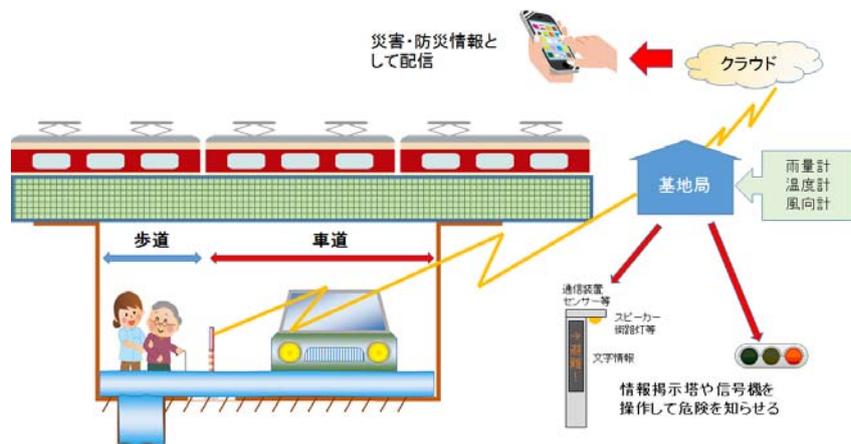


同研究会では、今までにない防災製品の共同開発に取り組んでおり、この度、第1弾の成果として、水害に着目した「冠水道路の水深表示ポール(※2)」のプロトタイプを開発しました。平常時に通常の歩車分離ポールコーンとして機能すると共に、冠水時には二重になった内側のポールが水によって浮上し、浸水の深さや道の境界線を表示するものです。また、ポール先端に各種センサー・通信機器を追加設置することで、地域の災害情報を広く収集・発信できるといった発展性を持ちます。今後、実証実験をふまえながら協力体制を拡充し、製品化を目指します。

※2：高久産業株式会社にて特許出願中(特願2017-151482)



水深表示ポールのプロトタイプ(左:通常時~右:冠水時)



墨田区防災フェアの展示状況